

1. 関西がめざす姿と4本の取り組みの柱

スポーツで輝く関西

あらゆる人々が集い、スポーツを楽しむ関西

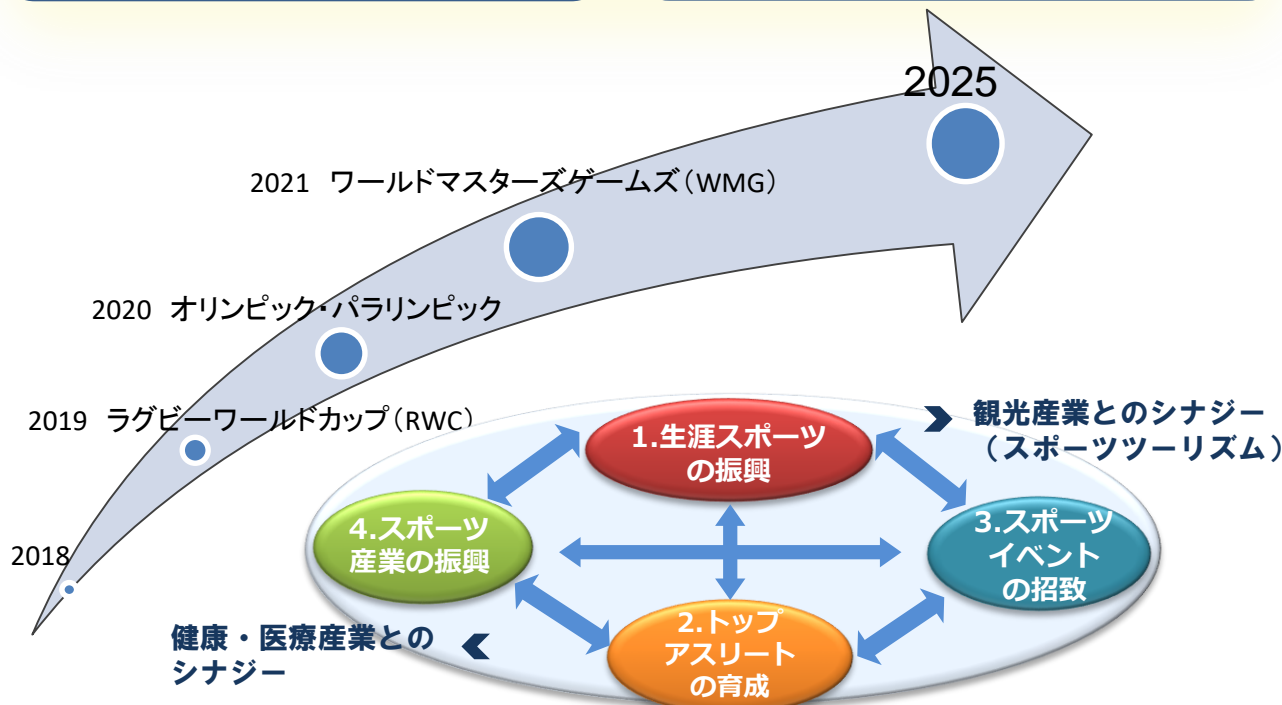
- ・世代やハンディキャップを超えて、あらゆる人々がスポーツを楽しみ、アクティブライフを実現する
- ・国内外から人が訪れ、「する」「みる」スポーツを楽しむアジアで最も魅力的な地域の一つとなる

スポーツと共に、チャレンジし続ける関西

- ・アスリートの「挑戦」を支え、優れたアスリートを輩出するだけでなく、アスリートが活躍し続けることができる地域となる
- ・スポーツ振興に関わるあらゆる分野で、新しい試みが生まれるエコシステムが形成されている

スポーツが地域・経済を活性化させる関西

- ・スポーツ実施者の増加による、人々の健康維持増進
- ・スポーツを起点とした様々な産業が振興され、地域経済の活性化、人々の交流・対流が促される
- ・スポーツが人々の生活の中に根付き、スポーツを盛り上げる熱いマインドで活気づいている



取り組みの4本の柱

1.生涯スポーツの振興	誰もがライフスタイルに応じスポーツを楽しめる環境整備や機会の提供
2.トップアスリートの育成	多数のトップアスリートを輩出するための環境整備と支える仕組みの構築
3.スポーツイベントの招致	大規模イベントや国際大会を招致するための体制の構築
4.スポーツ産業の振興	スポーツを起点として、関連する様々な産業におけるビジネスの創出

2. 推進のための体制

- ・関西の経済団体・自治体・スポーツ関係団体・大学等が一堂に会し、議論・検討・推進を行う会議体を置く
- ・4本の柱それぞれの取り組みについて、具体的な実施体制の構築をめざす

<全体協議の場>

関西スポーツ振興
推進協議会(仮称)

(経済団体、自治体、
スポーツ関係団体、大学 等)

<4本の柱に関する個別の推進体制>

- 生涯スポーツの振興に関する取り組み(官民連携タスクフォース)
- トップアスリートの育成に関する取り組み(アスリート育成産学連携)
- スポーツ大会の招致等に関する取り組み(関西スポーツイベント招致協議会(仮称))
- スポーツ産業の振興に関する取り組み(スポーツハブKANSAI)

3. 4本の柱に関する個別の取り組み方針

1.生涯スポーツの振興

- (1) 会員企業に対するスポーツ実施等の実態調査の実施
アンケート調査を通じ、関西における働く世代のスポーツ実施や企業としてのスポーツ実施の現状等を把握する
- (2) 企業所属アスリート派遣の仕組みの構築
企業所属アスリートの登録制度を整備し、学校のクラブ等の指導者として派遣する仕組みを構築する
- (3) 企業・経済界によるイベントの実施
生涯スポーツ振興イベントを各地で実施し、障がい者・健常者の枠を超え、スポーツ実施の裾野拡大を図る
- (4) 企業の取り組みを促す表彰制度等の創設
従業員のスポーツ参加(する・みる・ささえる)奨励に積極的な企業等の表彰制度を創設する
- (5) スポーツを誰もが気軽に楽しむための施設等の環境整備
スポーツ施設の環境整備や情報提供の仕組み構築、公共施設利用に関する規制緩和の提案等を行う
- (6) 企業の施設利用拡大や自治体の施設整備の促進に関する国等への働きかけ
企業所有施設の一般への開放や自治体の施設整備に対するインセンティブ付与について要望を行う
- (7) 生涯スポーツ関連データ整備等についての国への働きかけ
生涯スポーツと医療費・介護費に関する全国・地域別のデータ整備・蓄積について国に働きかける

2.トップアスリートの育成

- (1) 関西におけるトップアスリート育成環境の調査
既存のインフラや企業・大学等の取り組みなどの実態と今後どのような環境整備が必要かなどの調査を行う
- (2) 関西におけるトップアスリート育成の支援
将来有望な若年層アスリートに対する産官学連携による関西独自の支援の仕組みを協議し具体化する
- (3) ナショナルトレーニングセンター誘致に向けた国への要望の実施
関西の優位性を生かしたナショナルトレーニングセンターや競技別強化拠点施設の誘致について国へ働きかける

3.スポーツイベントの招致

- (1) 関西におけるスポーツイベント実施環境の調査
国際大会や大規模イベント開催に係る要件を満たす施設の充足や必要な環境整備などの調査を行う
- (2) ポスト・ゴールデン・スポーツイヤーズを見据えたスポーツイベント招致体制の構築
オール関西で戦略的に招致を行うための体制を関係者と連携・協議し具体化する
- (3) eスポーツ大会の招致
多くの集客が期待できるeスポーツの大会招致について関係者と具体化を進める

4.スポーツ産業の振興

- (1) ゴールデン・スポーツイヤーズを契機としたスポーツツーリズムの振興
RWC2019やWMG2021関西大会などを活用したスポーツツーリズムの振興に関西全体で取り組む
- (2) 関西におけるスポーツ産業振興に関する基礎調査
スポーツ振興を契機とした産業振興について、ハード・ソフト両面からの基礎的な調査を行う
- (3) 経済団体間の連携および産学官の連携
各経済団体の既存の取り組みとの連携、研究開発や新産業創出等の産学官連携を促進する

4. ゴールデン・スポーツイヤーズに向けて

- ・RWC2019については、相互PRの実施や、大会観戦者の広域観光の仕掛けづくりなどを含め、全国の試合開催会場である他圏域との連携を図る
- ・WMG2021関西大会については、官民連携での開催準備や内外へのPRを進めるとともに、各自治体・経済団体で同大会への積極的な参加を促す
- ・大会開催機運を盛り上げるスポーツイベント実施などの取り組みを行うとともに、スポーツ大会へのボランティア参加を奨励するなど、スポーツを「ささえる」活動を促す